

**令和5年度**

**看護学研究科（博士前期課程）**

**問題・出題の意図・解答のポイント**

令和4年9月17日

高知県立大学大学院

## 小論文

問 多様な価値が存在する社会において看護職に求められる能力と、その能力を高めるための方略について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

多様な価値が存在する社会において看護職に求められる能力を認識し、高めることは重要である。この設問により、多様な価値が存在する社会における看護職の能力に関する専門的知識、看護実践に対する洞察力、論理性と抽象的思考力をみる。

### <解答のポイント>

看護職に求められる能力として、人々の多様な価値を読み解く能力、人々の看護ニーズの多様さ・複雑さを受け止め理解する能力、内省する能力など、能力を高める方略として、多様な背景をもつ人の意見を聴く、自らの思考を意識的に吟味し批判的に思考する、異なる意見を認め合える職場環境を整備するなど、自分の考えを論理的に述べていること。

## 英語 高度実践看護師コース・研究コース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(100点)

出典：Milika Ruth Matiti and Lesley Baillie: 1. The importance of dignity in healthcare, :  
DIGNITY in HEALTHCARE a practical approach for nurses and midwives, CRC Press, p.4,  
2011. より抜粋

### <出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 終末期の患者にとっての尊厳について、どのようなことが明らかになっているか、要約してください。

(50点)

### <解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・患者は、尊厳の喪失を非常に否定的に捉えていること
  - ・尊厳の喪失と心理的・症状的な苦痛、依存欲求の高まり、生きる意欲の喪失などとの間に関連性があること
  - ・看護師は、死が差し迫っている状況において尊厳ある死を促進することが重要であると考えていること
- など

問2 終末期の患者の尊厳が損なわれる状況を1つ取り上げ、尊厳を守るための看護ケアについて、英文の内容も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(50点)

### <解答のポイント>

提示された英文も参考にして、自らの考えを述べていること。

## 英語 実践リーダーコース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50点)

出典: Rebecca Keele, Nursing Research and Evidence-Based Practice: Ten Steps to Success, Jones & Bartlett Learning, p.1, 2011 より抜粋

### <出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 下線部を日本語に訳してください。

(20点)

### <解答のポイント>

文章を正しく捉えて、日本語に訳していること。

問2 看護研究の実践への貢献は何だと考えますか。あなたの考えを述べてください。

(30点)

### <解答のポイント>

設問に対して、自らの考えを述べていること。

## 専門科目 がん看護学

問1 悪心・嘔吐のあるがん患者への看護援助について、以下の1)、2)に教えてください。

(100点)

- 1) がん患者の悪心・嘔吐を引き起こす原因について説明してください。
- 2) 1)でとりあげた原因のなかから2つを選び、悪心・嘔吐のあるがん患者への看護援助について、根拠とともに述べてください。

### <出題の意図>

悪心・嘔吐はがん患者には一般的な症状で、進行がん患者の60%に悪心が、30%に嘔吐があり、症状を緩和する援助は重要である。この設問により、がん患者の悪心・嘔吐に関する専門的知識、苦痛緩和に関する看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) がん患者の悪心・嘔吐を引き起こす原因について、化学的原因(薬剤、誘発物質、代謝)、消化器系の原因(消化管運動の異常・低下・亢進、薬剤の消化管への影響)、中枢神経系の原因(頭蓋内圧亢進、中枢神経系の異常)、心理的な要因などの点から具体的に説明していること。
- 問1-2) 悪心・嘔吐のあるがん患者への看護援助として、1)でとりあげた原因をふまえて、悪心・嘔吐のアセスメント、病態についての説明、薬剤的介入のマネジメント、環境調整、日常生活への援助、心理的サポート、などを根拠とともに述べていること。

問2 がん患者のアピアランスケアについて、以下の1)、2)に教えてください。

(100点)

- 1) がんとその治療によって外見の変化が生じる患者が直面する問題を取りあげて、説明してください。
- 2) がん患者のアピアランスケアにおいて、患者理解に有用と考える概念を1つとりあげて、その概念を用いてどのような支援を行うかについて、具体的に述べてください。

<出題の意図>

がんや治療によって外見の変化が生じる患者が直面する問題を理解し、社会関係性を脅かす不安や悩みを緩和する支援は重要である。この設問により、がん患者のアピアランスケアについての専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問2-1) 患者が直面する問題として、身体症状（脱毛や皮膚障害などの症状）、心理的問題（不安、抑うつ等）、社会的問題（所属集団からの離脱、孤立）などについて、説明していること。
- 問2-2) 有用と考える概念（自己概念、役割喪失、コミュニケーション等）を1つとりあげて、その概念を用いて、がん患者のアピアランスケアについて、具体的に述べていること。

## 専門科目 小児看護学

問1 命が脅かされる状態にある子どもについて、以下の1)、2)に教えてください。

(130点)

- 1) 発達段階を1つとりあげて、命が脅かされる状態にある子どもの体験について、概念を用いて説明してください。
- 2) 1)をふまえて、あなたが重要であると考え子どもと家族への看護実践について、根拠とともに説明してください。

### <出題の意図>

命が脅かされる状態にある子どもの体験を理解し、看護実践を行うことは小児看護の重要な課題である。この設問により、このような状況にある子どもと家族への看護に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) 命が脅かされる状態にある子どもの体験について、とりあげた子どもの発達段階の特徴をふまえて、概念(葛藤、喪失など)を用いて説明していること。
- 問1-2) 上記の1)をふまえて、苦痛の緩和、情緒的支援、その人らしい生活の支援など、最善の生を生きることができるよう子どもと家族を支える看護実践について、具体的に述べていること。

問2 次の事例を読んで、今回のAさんの採血場面における倫理的課題を1つとりあげて、あなたが考える子どもと家族への看護援助を、根拠とともに述べてください。

(70点)

Aさん(4歳、女児)は1型糖尿病であり定期的に外来受診をしています。診察前には毎回採血を受ける必要があります。インスリン注射や血糖測定は母親がAさんに代わって行っていますが、最近では母親が行う注射の準備などをそばで見たり、器具に触れて打つ様子を真似たりするようになってきました。外来受診に来たある日、いつものよ

うに、Aさんだけが処置室に入るように言われましたが、「お母さんと一緒にいい！」と泣きながら外来看護師に訴えました。いつもは何も言わずに泣きながら採血を乗り越えていたため、もう1名の看護師とともに「採血が終わったらお母さんに褒めてもらおうね。さあ頑張ろう！」と伝えて、そのままAさんの採血を行いました。採血後にAさんの頑張りを母親に伝えますが、Aさんの表情は泣き顔のままでした。

<出題の意図>

検査や処置を受ける子どもの体験を理解し、子どもの権利が守られる看護援助を提供することは小児看護において重要である。この設問により、検査や処置を受ける子どもと家族への看護に関する専門的知識、分析力、看護実践能力をみる。

<解答のポイント>

今回のAさんの採血場面における倫理的課題として、子どもの意見表明が尊重されていない、家族の意向が確認されていない、などをとりあげて、子どもと家族への看護援助について根拠とともに述べていること。



## 専門科目 精神看護学

問1 精神科病院の非自発的入院について、以下の1)、2)に教えてください。

(100点)

- 1) 精神科病院に非自発的入院をした精神疾患患者の体験について、概念を1つ用いて説明してください。
- 2) 非自発的入院をした精神疾患患者の権利を擁護する看護援助について、具体的に述べてください。

### <出題の意図>

精神科病院に非自発的入院をした精神疾患患者の権利擁護は重要な課題である。この設問を通して、非自発的入院による、患者の体験の理解、患者の権利を擁護する看護援助に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) 精神科病院に非自発的入院をした精神疾患患者の体験について、不安、自尊感情、不信感などの概念を用いて説明していること。
- 問1-2) 法律に基づき対応する、患者の訴えを批判せずに聞く、患者の認知能力に応じて理解できる言葉で説明する、などの看護援助について、具体的に述べていること。

問2 次の事例を読み、Aさんの退院に向けて必要な看護援助を2つとりあげ、根拠とともに具体的に述べてください。

(100点)

Aさん(20代、女性、統合失調症)は、幻覚・妄想状態にて急性期治療病棟に入院となった初発の患者である。入院時は「殺すと言ってくる」「誰かに見張られている」と訴え、終日怯えて過ごしていた。抗精神病薬が開始され、「人を病人扱いして」と憤慨しながらも、説明を繰り返すと渋々服用していた。1か月半後の現在は看護師に「他の人に狙いを変えたい、前のように殺すと言っこない」と話し、薬については「何の薬、なぜ飲んでいいのか」と聞いてくる。母親は「この先どこまで病気が良くなるのでしょうか」と看護師に尋ねた。

### <出題の意図>

初発の入院患者に対して、早期の回復、地域移行を促す看護援助を行うことが重要

である。この設問を通して、初発の入院患者の退院に向けて必要な看護援助に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

初発の入院患者の退院に向けて必要な看護援助について、患者と家族への疾患に関する教育、症状への対処方法の習得、治療継続への援助、などから2つとりあげて、根拠とともに具体的に述べていること。

## 専門科目 家族看護学

問1 次の事例を読み、以下の1)、2)に答えてください。

(120点)

Aさん(78歳、女性)は、脳出血後遺症と認知症があり、長男夫婦の家で療養していたが、誤嚥性肺炎を起こし入院となった。抗生剤の点滴により肺炎は改善したが、嚥下機能評価の結果、咽頭内に食塊が多量に残留しており、誤嚥のリスクが高いため絶食継続となった。看護師はある日、面会に来た長女がAさんにゼリーを食べさせているのを見つけ、危険であると注意した。しかし、長女は「母は以前から『私は20本の歯で死ぬまで嚙んで食べる』と言っていました。何とか少しでも口から食べさせてあげたいんです。」と答えた。その後、再度嚥下機能評価を行ったが、結果は変わらなかった。そこで、Aさんは認知能力が低下しており意思決定ができないため、主治医より家族に対して胃ろう造設の提案がなされた。長男夫婦は「また肺炎を起こすと危険なので、お願いします。」と同意したが、長女は「母は延命治療は嫌だと言っていましたし、絶対に口から食べる望みを捨てていないと思います。」と拒否し、方針が決まらないままになっている。

- 1) この家族が今後の方針を決める上での課題を2つあげて、具体的に説明してください。
- 2) 1)をふまえて、この家族に対してどのような看護援助を行うか、根拠とともに具体的に述べてください。

### <出題の意図>

代理意思決定にあたっては、家族が患者の意思を汲み取りつつ、話し合いながら合意を形成し、納得いく意思決定ができるように支援していくことが重要である。この設問により、家族の代理意思決定支援に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) Aさんの意思が明確ではない中で家族が代理意思決定を迫られていること、Aさんの安全を優先するか希望を尊重するかで家族の意見が割れていること、Aさんの希望を尊重することはAさんの生命を脅かす危険性があることなどについて2つあげ、具体的に説明していること。
- 問1-2) 1)をふまえて、家族とともにAさんの歩みを振り返りAさんの意思や価値観を汲み取ること、Aさんにとっての最善とは何かを家族が話し合う場を設けること、考えられる選択枝とそれぞれのメリット・デメリットなど意思決定のための判断材料を提供することなどの看護援助について、根拠とともに具体的に述べていること。

問2 中途障がい者を内包する家族への看護について、以下の1)、2)に教えてください。

(80点)

- 1) 家族の体験について、1つの理論または概念を用いて説明してください。
- 2) 1)をふまえて、家族に対する援助目標を示した上で、看護援助について具体的に述べてください。

<出題の意図>

中途障がい者を内包する家族が、障がいにより生じた様々な変化に対応し生活を立て直していけるよう支援することは重要である。この設問により、中途障がい者を内包する家族への看護援助に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問2-1) 家族の体験について、障がい受容、役割移行などを用いて、説明していること。
- 問2-2) 1)で説明した内容をふまえて、これらの家族に対する看護援助について、家族全体の健康の保持・増進の視点からの援助目標を示した上で、具体的に述べていること。

## 専門科目 在宅看護学

問1 Aさんの看護援助について、以下の1)、2)に教えてください。

Aさん(男性、60歳)は、脳血管疾患を発症し、車いすを使用する生活となった。現在、回復期リハビリテーション病棟を退院し、自宅で療養しているが、意欲が低下し外出することもなくなり、ADLの低下も見られるようになった。

(100点)

- 1) 看護援助を考えるうえで有用な概念を1つとりあげて、説明してください。
- 2) 1)をふまえて、具体的な看護援助について述べてください。

### <出題の意図>

身体的、心理的、社会的要因により生活機能低下をきたす在宅療養者の自立を支援することは、訪問看護師の重要な役割である。この設問により、生活機能低下がみられる在宅療養者への看護援助に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) 有用な概念について、自立、障がい受容などをとりあげて、説明していること。
- 問1-2) 1)をふまえて、具体的な看護援助について述べていること。

問2 以下の事例を読んで、訪問看護師としての看護援助を3つとりあげ、アセスメントとともに具体的に述べてください。

(100点)

Bさん(90歳代、女性、娘60歳代と二人暮らし)は、慢性心不全で入退院を繰り返していた。2年前に自宅で転倒し、要介護3の認定を受けたが、娘は、「自分一人で介護する、母親のこのような弱った姿を他の人に見せたくない」と介護サービスの利用はしなかった。3か月前に、心不全の増悪(NYHAIV度)により入院し、寝たきりの状態(要介護5)となった。退院後は、在宅療養支援診療所の医師により病状のコントロールを行っていたが、徐々に全身状態が悪化し、呼吸困難、浮腫が増強し、うとうとと寝ている時間が多くなった。医師からは「心臓

の機能は低下しており、介護も負担が大きくなっている。訪問看護や介護サービスを入れて、在宅療養を継続してはどうか」と説明を受けた。娘も一人での介護に不安や疲れを訴えるようになり、訪問看護が開始となった。

<出題の意図>

慢性疾患を有する高齢者と重度化、長期化する介護の負担や不安感を抱える家族への支援は訪問看護師の重要な役割である。この設問により慢性心不全高齢者と家族への看護実践に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

訪問看護師としての看護援助として、慢性心不全の病態に応じた症状緩和、病態や症状に応じた生活援助、全身状態悪化に伴う家族の介護負担・不安の軽減、看とりに向けた医師との連携、などから3つとりあげ、アセスメントとともに具体的に述べていること。

## 専門科目 災害・国際看護学

問1 グローバルな大規模災害時特有の「通信インフラのダメージ」や「国際救援の受入れ」が健康に及ぼす影響を説明し、今後類似の災害が起こった場合の国際救援方策について、看護の視点から具体的に述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

グローバルな大規模災害時の「通信インフラのダメージ」や「国際救援の受け入れ」は、受援者や被災者の健康に影響を及ぼす重要な事象である。この設問により、国際救援の課題に関する理解度、災害看護に関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

「通信インフラのダメージ」が健康に及ぼす影響として、被災者の安否や健康状態にかかる状況把握の遅れに伴う対応の遅延について、「国際救援の受け入れ」が健康に及ぼす影響として、受援側の心身の負担、感染症の流入リスクなどについて説明し、それぞれの具体的な方策を看護の視点から述べていること。

問2 近年、異なる種類の災害が同時に起こる複合災害の可能性が高まっています。新型コロナウイルス流行下で地震や洪水などの自然災害が発生した場合に、避難所や一時避難場所に集まる人々を保護するための方策を看護の視点から3つあげ、具体的に説明してください。解答は図示しても構いません。

(100点)

### <出題の意図>

複合災害は被害規模が拡大する傾向があり、対策も複雑で高い専門性が求められる。近年こうした複合災害のリスクが高まっていることは重要な課題である。この設問により、複合的な災害事象に関する理解度、災害看護に関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

新型コロナウイルス流行下で自然災害が発生した場合の避難者を保護するための方策として、出入口・受付・占有（居住）区画・共有区画などの各エリア内外のレイアウト

ト、避難者・支援者・管理者などの人々の動線、避難者の受入れ手順、外部や多職種との連携方法などを看護の視点から3つあげ、具体的に説明していること。



## 専門科目 看護管理学

問1 目標管理制度の運用にあたって、管理者の立場で予測される課題を1つとりあげ、その課題への対策について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

目標管理制度の運用にあたって、管理する側の立場で俯瞰して制度全体を捉え、課題への対策を考えることは重要である。この設問により、目標管理制度に関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

目標管理制度における運用上の課題として、制度の運用自体の目的化や個人目標の形骸化に伴う意欲低下などをとりあげ、その対策として組織目標から個人目標を設定する際の合意形成の在り方や面接時の配慮、個々の職員が制度の目的を理解して目標達成に向けた活動につなげる環境創りなどについて、自らの考えを述べていること。

問2 病院機能評価、JCI、ISOなどの第三者評価の特徴を説明し、評価を受ける側の組織において、一人ひとりの職員が第三者評価受審に主体的に参画していくための方策について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

第三者評価では、一人ひとりの職員の主体的な参画から、医療の質保証を質改善へと展開していく仕組みにつなげる視点は重要である。この設問により、第三者評価に関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

第三者評価の特徴として、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価する仕組み、当該組織で提供される医療サービスの質保証を評価する仕組み、その仕組みに基づく評価項目や評価指標などを説明し、一人ひとりの職員が第三者評価受審に主体的に参画していくための方策として、評価項目に関連するシステムの改善への参画、日常のケアの質向上に活かす意識、継続的な改善活動につなげる仕組み創りなどについて、自らの考えを述べていること。